中学校３年【国語】『現代の国語３』（三省堂）　（例）

教科書を活用した家庭学習例～計画的な家庭学習へ向けて～

|  |  |
| --- | --- |
|  | 課題内容 |
| 第１回 | 【単元名】学びの扉をひらく「水のようなひと（詩）」  【ページ】１４～１９ページ  【学習の流れ】  １　題名からイメージしたことを、ノートに書く。  ２　それぞれの連でたとえているものを想像しながら、朗読する。読めない漢字には、ふりがなを書き、分からない言葉は、辞書などを使って調べ、ノートに書く。  ３　「～のようなひと」を手掛かりに、作者が人をたとえている表現に線を引く。  １９ページの「読み方を学ぼう1①」を読み、隠された意味を確認する。  ４　表現の工夫に注意しながら音読する。  【学びの確認】  ・１７ページの「思いがけない豊かなこと」とは、どのようなことか考え、自分の考えをノートに書きましょう。  ・ワークブックを解きましょう。 |
| 第２回 | 【単元名】学びの扉をひらく「間の文化」  【ページ】２０～２８ページ  【学習の流れ】  １　題名を確認する。各段落に段落番号を書く。  ２　キーワードに線を引きながら、全文を読み、おおおまかな内容を捉える。  キーワード：題名（間、文化）、繰り返し出てくる言葉（空間的、時間的、心理的など）  ３　接続語や指示語（まず、それでは、しかも、次に、それにひきかえ、こうして、このように、では）に線を引く。２のキーワードと合わせて、論理の展開を捉える。  ４　日本の文化における「間」について，それぞれの特徴をまとめる。  　・空間的な間、時間的な間、心理的な間  【学びの確認】  ・「間の使い方はこの国の最も基本的な「掟」であって，日本文化はまさに「間の文化」ということができるだろう。」という主張について，自分の意見をノートにまとめましょう。  ・２８ページの「漢字を身につけよう」を解きましょう。 |